

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.243

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <https://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110 - 8- 579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

愛のまなざしを注いで

あすみが丘福音キリスト教会 牧師：岡山志伸

3:4 ペテロは、ヨハネとともに、その男を見つめて、「私たちを見なさい」と言った。

3:5 男は何かもらえると思って、ふたりに目を注いだ。(使徒の働き3章4, 5節)

この聖句は、ペテロとヨハネがユダヤ人の習慣である、午後三時の祈りの時間に宮に上って行った場面です。彼らはそこで生まれつき足のなえた人と出会います。この男は宮に入る人たちから施しを求めるために、「美しの門」という門に置かれていたのです。ペテロとヨハネが宮に入ろうと彼の前を通り過ぎようとした時、この男は、いつものように何のためらいもなく彼らに施しを求めようとしていました。しかし、その男に対して二人がまず何をしたかという、男を見過ごすことなく「見つめた」のです。これは単に見るといふ行為ではありません。彼らは心の底からこの男をかわいそうに思い、見つめたのです。

イエス・キリストも、病気の人、社会的な弱者、罪人に目を留められました。そして深い憐みの心をもって彼らを癒し解放しました。ペテロたちは、それをイエス様の傍らにいて学んでいたのです。彼らが学んでいたことの一つ、それはイエス様の「愛のまなざし」だったのです。私たちは時に、苦しむ人々から目を逸らしたくなる思いになります。その厳しい現状により自分が苦しむからです。しかし、そのような人々に心の目を逸らすことなく、愛を動機としたまなざしを注ぐときに、私たちの内側は聖霊による愛と憐みの心で満ちてきます。そして、この聖霊のご人格にあふれて祈る時に、神は事を行われます。

この男は、ペテロとヨハネが自分を見るので、何かもらえると期待して目を注ぎました。男が求めていたものは、その日一日をしのぐためのわずかなものでした。しかし、神様がペテロたちを通して与えようとしているものは、もっと大きな素晴らしいものでした。ペテロは愛と憐みの心に満ちて「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい(3:6)」こう男に向かって言った時、奇跡は起こりました。イエスの御名による驚くべき神のみわざが現れたのです。男は、足を癒されて立ち上がり、歩いたりはねたりしながら神を賛美しつつ、二人と共に宮を出ていきました。この時からこの男は偉大なる神の存在に目を注ぐ者とされたのです。そして人々は、彼を通して大いなる神の癒しと救いを見たのです。

私たちもこのコロナ禍の時代を必死で生き抜こうとしている周りの人々に対して、「愛のまなざし」を注ぎたいと思います。そして、人々に神の深い憐みと救いがもたらされることを信じて、イエスの御名を掲げて、共に福音を宣べ伝えていきましょう。

「千葉ライフ・ライン事務局」からの とれたてホットニュース

「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」御使いたちが彼らから離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは話し合った。「さあ、ベツレヘムまで行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見届けて来よう。」(新改訳 2017 ルカ 2 : 14, 15)



1. クリスマスおめでとうございます

番組放映を続けようと思っています。ご賛同されます方々をお願いいたします。クリスマス献金をお献げください。

送り先はニュースレター表紙の振込先まで。また、ゆうちょダイレクトで振り込める方はぜひお願いいたします。

2. お祈りください。

コロナ感染の収束に伴い、PBAが現地で番組取材を行うことができるように、お祈りください。

また、千葉ライフ・ラインのニュースレター発送等事務奉仕も行ってくださる方、お待ちしております。

3. 年末年始番組休止のお知らせ

1月1日(土)は、局の特別番組編成のため、ライフ・ラインは休止いたします。1月8日から再開します。よろしくお願いいたします。

4. ライフ・ラインCMを募集します。

ライフ・ラインで教会案内をしてみませんか。CM料金は、毎月、案内は1回4000円、教会案内と番組放映の維持の働きをいたします。よろしく、お願いいたします。

お申込み、お問い合わせはホームページから、あるいは、090-6709-0726山本進、または事務局へ。

放送レスポンス状況

毎週放送のレスポンス

10月 千葉42通(初めてお便り 7通)

聖書通信講座

10月は、1名の方が修了しました。感謝です。2名の方が受講申込みがありました。お祈りください。在主。(山本進)

<2021年12月の千葉ライフ・ライン祈禱会>

各自祈禱。遣わされた場所でお祈りください。

<2022年1月の千葉ライフ・ライン祈禱会>

1月18日(火)午前10時半~12時 の予定
千葉クリスチャンセンター(CCC)ビル3F
(〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
連絡先 TEL 043-247-3058 事務局)

<奉仕とお交わり>

12月18日(土)午後1時から、千葉クリスチャンセンタービル3F、税理士法人グローリア足達会計事務所(TEL043-243-8001)でニュースレター発送を行います。毎回数名の方がご奉仕してください。お時間を見計らってご奉仕ください。毎回のご奉仕感謝です。大変助かっています。

<10月のおたよりから>



(1週目)・すてきな曲で是非ともゆっくり家で楽しみたいです!

(2週目)・キリスト者ではないがコーヒーは好きで、市民の多様性に興味があるため本編部分は興味深かった。

・番組を見て主を土台としたお店を地域の中で証しているように思いました。ぜひそのコーヒーを味わってみたいです。

(3週目)・恵となった

(4週目)・心に染み渡る素晴らしい賛美に感動しました。

(5週目)・かめおかあきこさんの今回の放送は、前回は拝見しましたが、今回、必要なことは一つだけです。という言葉、そして全て神様にお任せしてということに改めて感じさせられました。神様に愛されている、それだけで良いのだ、と思いました。ありがとうございます。

<あとがき> クリスマス、おめでとうございます。各教会では、まだまだ会食はできないと思いますが、よき交わりの時、主の救いを思うときとなりますように。(山本)